

令和5年度 冬季一般入学者選抜試験

小論文試験問題

注意事項

1. 開始の合図があるまで、開かないこと。
2. この問題冊子は6枚綴り、問題は片面に印刷されている。
3. この問題冊子は持ち帰ること。
4. 解答用紙は必ず提出すること。
5. この試験の問題は、ただ1つ特定の正解が存在することを前提とするものではない。また、解答者の思想・信条を問うものではない。

解答記入上の注意

1. 解答は、黒、青、ブルーブラックのボールペン（プラスチック製消しゴム等で消せないもの）又は万年筆で記入しなさい。
2. 解答は横書きにして、原則としてマス目に1字記入しなさい。
3. 加筆・訂正・削除は、その記入方法も含めて自由とする。ただし、修正液・消しゴムなどを使用してはならない。
4. 加筆・訂正・削除をした場合は、それらを含めて、完成後の答案が字数の制限内に収まるようにしなさい。
5. 読みやすい答案となるよう心掛けなさい。

以下は、トム・ニコルズ（高里ひろ訳）『専門知は、もういないのか 無知礼賛と民主主義』（みすず書房、2019）から抜粋した文章である。これを読んで、下記の問いに答えなさい。なお、同書の著者略歴によると、トム・ニコルズはアメリカ海軍大学校教授で、専門はロシア、核戦略、NATO 問題である。

（〔問1〕〔問2〕〔問3〕の配点割合は、2・5：4：3・5）。

著作権法により公開していません

著作権法により公開していません

著作権法により公開していません

著作権法により公開していません

問1 なぜ、「民主主義社会において自分は専門家だという主張が人々をいらだたせるのは、専門家であることは必然的に排他的」（下線部①）になるのか。その理由について、著者はどのように考えているのかを350字以上500字以内で説明しなさい。

問2 「『誰でも専門家になれる』という有害な考え」（下線部②）を著者が危険だと考えている理由を明らかにした上で、この著者の意見についてのあなたの考えを650字以上800字以内で説明しなさい。

問3 民主主義社会において専門家と素人を分ける線（下線部③）はどのように引かれるべきか。あなたの考えを500字以上700字以内で述べなさい。

【解答作成上の留意点】

I 本問は、解答者の思想や信条を問おうとするものではない。また、法知識の有無を問おうとするものでもない。

II 〔問1〕〔問2〕〔問3〕それぞれ独立のものとみなして採点する。必要な場合には、他の解答欄に記述したことで繰り返して記述しなさい。

以上

出題趣旨

各分野で専門家が蓄積してきた専門知を尊重しない時代になってきている。そのことを前提として、専門知とはどのようなもので、専門家と素人を分ける線について著者がどのように考えているのかを読み解く能力をはかる問題となっている。問1は、民主主義社会についての理解を前提として、専門家との関係を問うものである。たとえば、平等という観点から特権を与えることを嫌う民主主義が専門知にいらだつという点に言及することで、問2・問3の前提をとという両者の関係について問うものである。問2は、専門家なるために必要な4つの要素（教育、才能、経験、同業者（ピア）による評価）を持たない人が専門家を僭称する問題点を指摘する著者に対して、どのように考えるのか。自分の意見を論理的に構築する能力を問うものである。問3は、この文章を読みこなした上で、自分の意見を論理的説得的に構成する能力を問うものである。